


整理番号	HT25053	分野	生物、農学	(キーワード)	クロマグロ
------	---------	----	-------	---------	-------

## 東京海洋大学

### サバにマグロを産ませる ～魚の代理親（だいいりおや）技術の開発～

先生(代表者)	竹内 裕(たけうち ゆたか) 先端科学技術研究センター・准教授				
自己紹介	専門は、魚のバイオテクノロジー（細胞（さいぼう）や遺伝子（いでんし）を使った研究）。学生時代は山梨県の山奥や米国で魚や哺乳類（ほにゅうるい）の生物学（せいぶつがく）を学びました。今は、海がすぐそばの研究室で生きたマグロやサバを使って実験しています。魚と海が大好きな大学院生たちと一日楽しく過ごしましょう！				
開催日時・主な募集対象	平成25年8月23日(金)	(対象)	小学5、6年生	(人数)	20名
集合場所・時間	東京海洋大学 館山ステーション(坂田)	(集合時間)	午前9時30分		
開催会場(集合場所)	東京海洋大学 館山ステーション(坂田) 住所:〒294-0308 千葉県館山市坂田 670 アクセスマップ: <a href="http://www.kaiyodai.ac.jp/Japanese/academics/center/banda.html">http://www.kaiyodai.ac.jp/Japanese/academics/center/banda.html</a>				
内 容					
<p>海のダイヤ“クロマグロ”は、乱獲（らんかく）による絶滅（ぜつめつ）が心配されています。魚を育てる技術では世界トップの日本でも、体重 100 キロをこえるマグロに卵を産ませ、稚魚（ちぎょ）へと育て、海へ放流（ほうりゅう）する技術は、まだ完成していません。私たちは、マグロの親せき“サバ”に、クロマグロの卵を産ませる世界初の研究に挑戦（ちょうせん）しています。今回は、魚の解剖実験、研究所で飼育されている様々な海水魚の卵や稚魚の観察、最新の研究発表を行います。</p>					
					
<p>左上から：受精卵（じゅせいらん）、1才のクロマグロ（7kg）、解剖（かいぼう）の実験。左下から：研究所マサバのふ化稚魚（ちぎょ）への細胞移植（さいぼういしょく）。</p>					
					

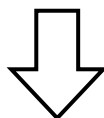
スケジュール	持ち物
09:30-10:00 受付 (東京海洋大学館山ステーション(坂田)研究棟前集合)	お弁当、飲み物、帽子や日焼け止めなどの日よけ対策、上履き(スリッパ等)
10:00-10:15 開講式(挨拶、オリエンテーション、科研費の説明)	
10:15-10:50 実習① (顕微鏡の取扱説明、実験器具説明、魚の卵・仔稚魚の観察)	<b>特記事項</b> <b>魚の解剖を行いますので、参加者の方はあらかじめご了解ください。</b> なお、多少、ぬれたり、汚れたりしても良い服装で参加してください。
10:50-11:00 休憩	
11:00-12:00 実習②(魚の解剖、体の仕組み、オスとメスの違い)	
12:00-13:00 昼食	
13:00-14:50 施設見学(エサやり体験)	
14:50-15:00 休憩	
15:00-16:00 講義「代理親(だいいりおや)技術:サバにマグロを産ませる」	
16:00-16:30 修了式(アンケート記入、クッキータイム、未来博士号授与)	
16:30 解散	

### 《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名 :	東京海洋大学 先端科学技術研究センター 竹内 裕
住 所 :	〒294-0308 千葉県館山市坂田 670
TEL 番号 :	0470-20-9021
FAX 番号 :	0470-20-9021
E-mail :	yutakat@kaiyodai.ac.jp
申込締切日 :	平成25年8月1日(木)

### 《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
竹内 裕	H18-19	若手研究(B)	18780144	海産魚における代理親魚養殖の確立に向けた生殖細胞の異種間移植技術の開発



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。